

**Outline:**Kanzaki archaeological site in Ayase City, Kanagawa Pref., is a ditch- enclosed settlement from the Yayoi period, which dates back to about 1800 years ago. The site was designated as a National Historic Site in February of 2011 for its well-preserved condition as well as for its indication of the immigration from the Tokai to the Kanto region during the Yayoi period. Ayase City opened “Kanzaki Iseki Shiryo-kan”, a ruins museum, in May of 2016, where the relics excavated from Kanzaki site and other historical materials of Ayase City are on permanent display, “Kanzaki Iseki Koen”, a historical park in April of 2018.

**Museum and Parking Hours:**9 a.m. to 5p.m.

**Museum Closed:**Monday (the next day if Monday is a public holiday)  
December 29 to January 3

**Entrance Fee:**free

**Transportation:**\*Bus from Ayase city hall bus terminal, the number 5 community bus of Ayase city for the Kouza indoor heated pool “高座屋内温水プール”, getting off at the Kanzaki ruins “神崎遺跡前”. About 25 minutes.

\*Bus from Ebina station bus terminal, bus “長 16” for the west exit of Chougo station”長後駅西口行き”, getting off at the Neoma “根恩馬” stop. About 20 minutes.

\*Bus from Chougo station bus terminal, bus “長16” for the east exit of Ebina station”海老名駅東口行き”, getting off at the Neoma “根恩馬” stop. About 20 minutes.

**Address:**3425-5 Yoshioka,Ayase City,252-1124

**Telephone,Fax:**0467-77-0841 (Kanzaki ruins museum)

## ◆ 来館記念スタンプ ◆

## 利用案内

### ◆ 神崎遺跡公園

- 駐車場 午前9時～午後5時  
(20台、うち1台障がい者等対応)

### ◆ 神崎遺跡資料館

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 月曜日(祝日にあたるときはその翌日)  
1月1日～3日および12月29日～31日
- 入館料 無料

### ● 交通案内

- ・綾瀬市役所バスターミナルから  
綾瀬市コミュニティバス5号車高座屋内温水プール行で「神崎遺跡前」バス停下車(所要時間約25分)
  - ・海老名駅バスターミナルから  
長16長後駅西口行で「根恩馬」バス停下車(所要時間約20分)
  - ・長後駅バスターミナルから  
長16海老名駅東口行で「根恩馬」バス停下車(所要時間約20分)
- ※駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



### ■ 綾瀬市神崎遺跡公園 ■

〒252-1124 神奈川県綾瀬市吉岡 3425 番地 5

TEL・FAX 0467-77-0841 (神崎遺跡資料館)

発行：綾瀬市教育委員会 生涯学習課 綾瀬市 みどり公園課  
神奈川県綾瀬市早川 550 番地 TEL 0467-77-1111(代表)

# あやせし 綾瀬市 かんざきいせきこうえん 神崎遺跡公園



## 概要

1989（平成元）年に市史編集事業の一環として、市内の弥生時代の資料を収集するため、発掘調査が実施されました。その結果、弥生時代後期（今から約1,800年前）の、南北103m、東西65m、面積5,000㎡ほどの、周囲に深さ約2mの溝を巡らした環濠集落<sup>かんごう</sup>の存在が明らかになりました。

神崎遺跡から出土した土器のうち95%以上が東海地方の土器の形態に酷似し、住居跡にもその影響が見られました。

国家が成立する前夜という社会が揺れ動く時期に、東海地方の人々が200km以上の距離を集団で移動していた事実を示す遺跡であること、集落全体がほぼ完全な形で残っていることから、2011（平成23）年2月7日、神崎遺跡は国指定史跡となりました。

綾瀬市では、国指定史跡・神崎遺跡を通じて、綾瀬の歴史や文化を学べるよう整備を進め、2018（平成30）年4月1日に神崎遺跡公園を全面開園しました。

遺跡は、園内に埋め戻されていますが、環濠や住居跡の表示や説明板を設置しています。

資料館は、綾瀬の歴史を記したパネルや神崎遺跡の出土品の展示等しています。

史跡指定範囲 約9,500㎡

## 体験教室・講演会

火起こし体験、弓矢体験、土器作り、土器片型クッキー作り、拓本体験、まが玉作り等の体験教室や、講演会を実施しています。

まが玉作りは、事前に申し込みば随時体験できます。その他の体験教室等は広報等でお知らせします。

※体験教室は、費用がかかります。

※詳細は、資料館までお問い合わせください。



## 公園内案内図



資料館では、綾瀬の地で初めて人が住み始めた頃から現代に至るまでの歴史や、神崎遺跡の当時の人たちがどのように東海地方から移住してきたのか、どのような暮らしをしていたのかを学ぶことができます。

環濠体験



綾瀬のあゆみ



園内には、環濠や住居跡の位置がわかるよう表示をしているほか、遺跡の概要や解説を記した説明板を設置しており、散策しながら歴史を学ぶことができます。

また、年に1回、期間限定で過去に調査した環濠の一部（4m×2m）を一般公開します。

※環濠の状態によっては、実施しない場合があります。

環濠



住居跡



説明板

